

令和5年度第3回柳井医療圏地域医療構想調整会議 議事概要
(令和5年度第2回柳井地域保健医療対策協議会)

【日 時】 令和6年1月29日(月) 19:00~20:00

【場 所】 柳井総合庁舎 2階大会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の最終案について説明を行った。
- 紹介受診重点医療機関の選定について協議し、1つの医療機関を継続して選定した。
- 周防大島町病院事業局から、東和病院及び大島病院の公立病院経営強化プランについて説明があり、地域医療構想との整合性について確認した。
- 周東総合病院、光輝病院及び橘医院から、病床機能再編支援事業に係る単独病床機能再編計画及び地域医療構想の達成に向けた対応方針の変更について説明があり、合意した。

1 第8次山口県保健医療計画最終案について

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画の最終案について説明を行った。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

2 紹介受診重点医療機関の選定について

紹介受診重点医療機関の選定について協議を行った。

その結果、周東総合病院を継続して選定した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

3 公立病院経営強化プランについて

周防大島町病院事業局から、東和病院及び大島病院の公立病院経営強化プランについて説明を行った。

プランでは、橘医院の病床を廃止して無床診療所へ移行することで、東和病院と大島病院に医療資源を集約し、2病院が島内の入院医療を主に担う体制を強化することなどが示された。

協議の結果、病院の果たすべき役割・機能などについて、地域医療構想との整合性を確認した。

(主な意見・質問等)

- 周防大島町の人口や高齢化を踏まえると、地域包括ケア病床よりも次期診療報酬改定において新設される地域包括医療病棟の方が合っているのではないかと考える。

4 病床機能再編支援事業について（周東総合病院、光輝病院及び橘医院）

令和6年度病床機能再編支援事業の実施を希望した周東総合病院、光輝病院及び橘医院から、単独病床機能再編計画及び2025プランの変更について説明を行った。

周東総合病院の計画では、急性期病床の一部を不足する回復期病床へと転換するとともに、病床削減して空いたスペースに不足する外来化学療法室を増床するなど、病床運営の効率化を図ることが示された。

光輝病院の計画では、休棟中の慢性期病床の削減により医療資源を集約し、急性期病院の後方支援や在宅医療の取組を支援していくことが示された。

橘医院の計画では、無床診療所への移行により東和病院と大島病院に医療資源を集約し、入院が必要な患者については2病院と受入協力体制を確保することが示された。

協議の結果、これらの単独病床機能再編計画及び2025プランの変更について合意した。

(主な意見・質問等)

特に意見、質問等はなし。

5 令和6年度調整会議スケジュールについて

県医療政策課から、令和6年度調整会議の開催スケジュールについて説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 柳井医療圏では、必要病床数に近づいており、地域医療構想の取組は上手く進んでいると考える。他圏域の構想の進捗状況はいかがか。

⇒ 必要病床数はあくまでも達成を目指すべき指標であり、その比較だけでは判断できないが、他圏域においても必要病床数との差異は小さくなっている。必ずしも必要病床数に合わせる必要はなく、差異があることで生じている課題や圏域内の医療機能の分化・連携の状況等を踏まえて議論を進めていただきたい。